

貸借対照表

2020年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
【流動資産】	61,139	【流動負債】	52,484
現金及び預金	16,847	未払金	27,219
売掛金	43,997	未払消費税	7,457
前払費用	200	仮受金	6
仮払金	93	預り金	372
		賞与引当金	17,157
【固定資産】	3,170	未払金法人税等	271
(有形固定資産)	0	【固定負債】	169,031
建物 附属設備	0	長期借入金	80,000
什器備品	0	長期未払金	20,574
(無形固定資産)	2,558	退職給付引当金	59,021
電話加入権	2,155	役員退職慰労引当金	9,435
ソフトウェア勘定	402	負債合計	221,515
(投資その他の資産)	611	純資産の部	
出資金	190		千円
長期貸付金	421	【株主資本】	△157,206
		(資本金)	10,000
		(利益剰余金)	△167,206
		利益準備金	3,000
		その他利益剰余金	△170,206
		別途積立金	100,000
		繰越利益剰余金	△270,206
		(当期純損益)	(△130,971)
		純資産合計	△157,206
資産合計	64,309	負債・純資産合計	64,309

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

株式会社リピックス

2019年4月1日から

2020年3月31日まで

1. 重要な会計方針にかかる事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

出資金の評価は、移動平均法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却は、定率法によっている。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用している。

無形固定資産の減価償却は、定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

①貸倒引当金は、期末現在に有する金銭債権の貸倒れによる損失に備えるため、回収不能のおそれがある金銭債権について、回収不能見込額を計上している

②賞与引当金は、従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上している。

③退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上している。

④役員退職慰労引当金は、役員に対して支給する退職慰労金の支出に備えるため、当期末における支給見込額を計上している。

(4) その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 773 千円

3. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額 △10,480円42銭

1株当たり当期純損失 8,731円44銭

4. その他の注記

記載金額は千円未満を切り捨てて表示している。